

# SHOW HEY シネマールーム

★★★

## アガサ・クリスティー ねじれた家

2017年/イギリス映画  
配給: KADOKAWA/115分

2019 (平成31) 年4月25日鑑賞

シネ・リーブル梅田

### Data

監督: ジル・バケ=ブレネール  
原作: アガサ・クリスティー「ねじれた家」  
出演: グレン・クローズ/マックス・アイアンズ/ステファニー・マティニー/テレンス・スタンプ/クリスティーナ・ヘンドリックス/ジリアン・アンダーソン/アマンダ・アビントン/オナー・ニーフシー/ジュリアン・サンズ

## ■ショートコメント■

◆無一文から巨万の富を築き上げた大富豪レオニデスが死亡！そんなニュースが世界中を駆け巡ったが、実はそれは毒殺！？

そんな疑いをもったレオニデスの孫娘ソフィア（ステファニー・マティニー）は、元恋人で今は私立探偵をしているチャールズ（マックス・アイアンズ）に犯人捜しを依頼した。レオニデスの広大な屋敷に到着したチャールズは、そこに住む亡き前妻の姉で、ソフィアの大伯母イーディス（グレン・クローズ）をはじめとする家族たちから、どんな事情聴取を・・・？

◆アガサ・クリスティー自身が最高傑作だと誇るミステリー小説の初の映画化だから、面白いのは当然。また、ソフィアやレオニデスの若い後妻の美しさが際立っているうえ、3世代にわたる“華麗なる一族”のねじれた性根が際立っているから、面白い。また、キウーマンになるのが、詮索好きなソフィアの妹だということもすぐにわかるが、ストーリー全般にわたってこの“小っちゃな探偵”（？）が大きな役割を果たすので、それに注目！

◆ストーリーの作り方は、横溝正史の「金田一耕助シリーズ」にそっくりだが、遺言のあり方やその公開方法が日本とはかなり違うから、ご注意を！そして、中盤で明かされるその遺言内容に注目！

すると、毒殺の犯人は最初に摘発された若い後妻ではなく、実はその遺言で最大の利益を受けるソフィア？もしそうだとすると、ソフィアの依頼で調査に当たっているチャールズもヤバイのでは・・・？

◆「金田一耕助シリーズ」で私立探偵の推理力が見どころだが、さて、本作におけるチャールズの推理力は？

あっと驚く展開はないものの、華麗なる一族の誰もが動機があるため、誰もが容疑者と見られる「ねじれた家」の中での犯人捜しは、やっぱりそれなりの意外性が・・・。

2019（平成31）年4月29日記